平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	農業振興課
9 ※記入不要		

要望問題
シクラメンの小鉢化試験

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

１、背景
　県下のシクラメン生産は６号鉢生産が主体であるが、贈答用需要の減収で売れ行きが落ちている。家庭用需要に対応する４～５号鉢は生産は少なく、また６号鉢に比べて良品も少ない。そこで品種数が豊富な６号鉢用の品種を用いて、高級感のある４～５号鉢を生産する技術の確立を目指す。
　シクラメン農家　１５０戸

２、要望内容
(1)品種、及び播種、移植時期の検討
(2)養水分管理法の検討
(3)出荷時期の検討

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　～継続
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　(①、②、④の場合)
作物の生理・生態特性の解明に基づく栽培技術の確立

対応の内容等

本県のシクラメン生産は６号鉢が中心であるため、これまで６号鉢栽培を対象とした試験を中心に実施してきました。また、小鉢や５号鉢生産が中心の他県においても、中、小鉢用の品種を用いた栽培試験は行われていますが、ご要望のような試験は行われていません。
６号鉢用品種は豊富で、家庭用需要としての可能性が考えられますので、は種期をずらして５号鉢で適正な草姿を確保できる栽培技術について上記課題のなかで検討したいと考えます。
試験の実施に当たっては、供試品種の選定など、現地の状況に基づいた設計を組みたいのでご協力をお願いします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	